



全国公立学校教頭会通信 第7号

# きずな

令和6年度 全国公立学校教頭会研究大会  
高知大会 第5A 分科会

発行 令和6年9月1日

全国公立学校教頭会 広報部

電話： 03-3436-4868

Mail： [zenkokyo@kyotokai.jp](mailto:zenkokyo@kyotokai.jp)

HP： <https://kyotokai.jp>

令和6年度、『第66回全国公立学校教頭会研究大会高知大会』が、7月31日～8月1日に開催されました。全公教広報部員も各分科会に参加しましたので、取材した概要をお伝えいたします。

## 第5A 分科会 「教職員の専門性に関する課題」①

■提言者 三重県鈴鹿市教頭会 鈴鹿市立大木中学校 教頭 伊藤 佳代子 先生

### ■提言主題

「教師の専門性を高め、学び続ける教員を育てるための副校長・教頭の役割」  
～鈴鹿市教頭会の取組から～

### ■概要

①教職員の専門性の意識向上及び醸成②教職員の学校運営参画への意識向上③職場の働きやすさの向上という視点で、副校長・教頭としての役割に焦点をあてた研究が紹介された。

発表では、年間2回のアンケート結果を踏まえた取組の内容が示され、取組の結果から、組織的に学校運営する意識が副校長・教頭の連携だけでなく、自校の教職員間に生まれたこと等が成果としてあげられた。

### ■グループ協議



各校の取組について、成果と課題が協議された。教職員一人一人の働きぶりを見守りながら組織としての意識を高めること、若手教員を中心に人材育成を図ること、勤務時間外の会議の精選し、働きやすさを生み出すことの大切さなどについて取り上げられた。

### ■指導・助言

○高知県高知市立はりまや橋小学校 校長 北岡 秀樹 先生

○青森県外ヶ浜町立三厩中学校 校長 目時 聖児 先生

・鈴鹿市の取組については、すべての教職員が学校運営を意識し、参画しやすい取組が行われているというご指導をいただいた。また、学校の質を高めるためには、管理職としての質を向上させるために学び続けることが大切だということについてお話があった。さらに、若手教員だけでなく、教員の指導力の向上についても改めて確認された。教員の専門性を高める取組を充実させるための、管理職の役割を再認識することができた。

## 第5A 分科会 「教職員の専門性に関する課題」②

■提言者 徳島県三好郡市小学校教頭会 三好市立池田小学校 教頭 山田 知弘

### ■提言主題

「学び続ける教職員集団の実現に向けた効果的な副校長・教頭の関わり」

～互いに高め合う集団づくりを目指して～

### ■概要

三好市副校長会・教頭会における研究では、①各校の取組について②校内サークル型メンター制研修について③教職員アンケートの意識向上について。市内各校の取組については、①教職員間での共通理解②メンバーの選定③研修後の状況確認などが紹介された。発表では、成果と課題が示された。目的意識をもち、意図的・計画的・継続的に研修に関わることで、研修自体が活性化したことなどが成果として上げられた。



### ■グループ協議

各校の取組について、成果と課題が協議された。組織的な対応を行うために、副校長・教頭として、校長の学校経営方針を踏まえた取組を行うこと、学校の実態を的確に把握し対応すること、研修の時間を確保することの課題に取り組む必要があることなどが取り上げられた。

### ■指導・助言

○高知県高知市立はりまや橋小学校 校長 北岡 秀樹 先生

○青森県外ヶ浜町立三厩中学校 校長 目時 聖児 先生

・若手教員が増え、教員の指導力を高めることが求められている。三好市の取組は、ベテラン教員と若手教員と学び合いが行われており、互いに学び合う点のよさをご指導いただいた。

また、若手教員の指導力が高まるとともに、ベテラン教員が自分自身を振り返り、自信を高めモチベーションを保つことができるような研修を行うことが大切だというお話があった。教職員の笑顔と学びが進むようにするため、副校長・教頭としての役割を再認識することができた。